

- 1面 退職インタビュー高橋教授
- 2面 退職インタビュー工藤教授 大島教授
- 3面 退職インタビュー樹林教授 菊川教授
- 4面 なんかくわせろ クロスレビュー

## 退職教授インタビュー

今回新聞会では、今年度退職される五名の教授(薬学部二名、生命科学部三名)に退職するにあたって、今までの経緯や研究内容などについて伺った。



### 生命科学部学部長 高橋健治教授

—まず始めに東京薬科大学で最も印象に残っていることはありますか？  
印象に残っていることは色々ありますが、私にとってこの東京薬科大学で最も印象に残っていることは、キャンパスが美しい自然に恵まれていることです。特に研究3号館のような高い建物から眺めていると四季の移ろいがはっきりと感じられ、木々の葉の色が季節とともに微妙に変化していく様子は素晴らしいの一語につきません。授業などによらずに学生や教職員がこの素晴らしい環境の中でひとりでに自然の美しさを大切さを教育されているように感じます。私はこのような環境下で研究や教育に携わってきたことが本当に良かったと感謝していま

—私たちが無意識のうちには自然に教育されているわけですね。次の質問なのですが教授が最も力を入れた研究はなんですか？  
若いときに酵素というものを初めて知ってその動きの不思議さに興味を持って以来ずっと酵素の研究をしています。特に酵素がどんな化学構造を持ち、それがその酵素の動きにどのように関係しているか、いわゆる構造機能相関を解明することが興味のあることです。酵素といっても多数の種類が存在しますが、私が主に手がけたものは大学院生から助手時代まではリボ核酸を分解する酵素、その後は主にタンパク質を分解する酵素の研究で、今でもそれを続けています。

—タンパク質分解酵素は身体中にありますがタンパク質を分解するだけでなく、色々な生体機能の制御にも関与するため様々な生理現象に非常に関係が深い大事なものであるんですね。しかし、私の研究は元々化学構造寄り、物質レベルでの研究が主だったのでそれらの酵素が実際に生体内でどの

—重要な生理機能を果たしているかという面ではなかなか研究が進みませんでした。しかし、最近では、遺伝子レベルの新しい研究方法が入ってきたことで、生体機能の解析も進みつつあります。  
—なるほど。では、教授にとって研究とは？また、研究者として大切なことはなんですか？  
私が研究に費やした時間を見ると、研究が自分の人生そのものだと感じます。また、自分とは何かといった命題に対して研究を通して多少とも答えの一部が得られたのかなとも思っています。研究者として何が大切かと言われれば好奇心、チャレンジ精神、集中力、持続性が必要だと思えます。

—好奇心、チャレンジ精神、集中力、持続性は研究者のみならず、あらゆるところで必要なものですね。それでは教授にとって教育とはなんですか？  
私は教える立場なので、微力ながら若い人たちの文化、文明の伝承の語り部の一人だと自認しています。私の講義内容も文化、文明の一部であり、これを若い

—学部長の目線から見たときには繋がりがほとんど見ることができないのでそうやって欲しいですね。それでは退職後にやりたいことはありますか？  
退職により研究室を去ることになりましたが、まだやり残した研究もあるので、どこかに研究室を得て、納得のいくところまでやりたいと思っています。その他には専門の教科書を書いてみたいとも思っていますし、趣味では世界中を旅行したり、今までも読み読んだことのない種類の本(古典など)を読んだり、油絵などにも挑戦してみたいと思っています。

—研究に興味にと、とても充実していますね。生命科学部学部長として1年間勤められたきただけですがこの2年間はどうでしたか？  
生命科学部ができてから10年経ちましたが一応のレベルまで達することができ、当初の目標は達成することができたと思います。しかし、少子化時代を迎え、これからの時代このまま安閑としていくわけにはいきません。生命科学部を学生にとってより魅力的なものにしていく方策の一つとして、現在新学部の設置構想を検討中です。これは人の医療に関連する生命科学を基礎と

する学科(仮称、医療生命科学)で、その実現の方向に向けて多少とも奮ってきたということが学部長の仕事としては一番やりがい大きかったと思います。  
—では、最後になりましたが学生に向けてメッセージをお願いします。  
夢と大志とハンケリ精神を持って何事にも積極的にチャレンジして下さい。それで失敗したとしても七転び八起きで、初心に戻って再度挑戦して欲しいと思います。失敗こそ成功の鍵です。  
▼手話は主に耳の聞こえない人たちのコミュニケーション手段でした。でも一度、手話という話す手段を学ばば聞こえる人も聞こえない人も、会話することで相手を理解することができ素晴らしいのです。▼今年の野球ドラフトで、聴覚障害を持つ石井裕也さんが中日ドラゴンズに指名されました。彼は左耳がまったく聞こえず、右耳は補聴器をつけてやっと聞こえる程度だそうです。チームメイトの誰かが、意思疎通のために手話を学んでみようとするかもしれないと思いつつ、私も手話の世界を体感したいと思います。(B)

### 今月の花



## ポインセチア

クリスマスの花と言えば、ほとんどの人がポインセチアを思い浮かべるでしょう。ご存知の方も多いと思いますが、ポインセチアの赤い部分は花ではなく葉で、本当の花は中心にある小さい黄色の部分です。原産国はメキシコで、先住民はポインセチアの白い樹液を解熱剤として使用していました。日本に渡来したのは明治時代、当時は中国の想像上の怪獣にちなんで猩猩木(ショウジョウボク)と呼ばれていました。ポインセチアは短日性の植物で、日の当たらない時間が12時間以上になると葉が赤くなります。自然の場合、赤くなるのは2月になってしまいます。そのため現在ではクリスマスに間に合うように人工的に夜を長くしています。花言葉は「聖なる願い」。今年の聖なる夜はポインセチアに願いを託してみましよう。

もう幾日過ぎると二年が終わりですが、正月はどうかと考えているあなた。少し手を動かしてみませんか？温まりますよ。▼私は十月くらいから手話の勉強を始めた。また、勤労感謝の日には約百人の聴衆を前に友達と手話の歌を発表しました。歌と手話の説明をする子供からお年寄りまで、表情を生かして手話を生かして動かしだしたのを見た時はうれしかった。失

# 生命・生体高次機能学 工藤佳久教授



先生の研究を始めるきっかけと研究を教えてください。

私の研究は中枢神経系理学です。私は大学を卒業してすぐに製薬会社に入り、そこから出身校に研究生として派遣されました。会社から派遣されたので、他の学生や院

生のようにわがままが言えず、実験動物をうまく飼ってあげてもらう必要があるので、何とかしながら考え、ヒヨコのオスならばただで貰えることに目をつけたんです。当時、私が使わせてもらえた実験器具が簡易型の電気刺激装置一台とキモ

その後、当時、最も理想的な民間研究所といわれていた三菱化学生命科学研究所に移ったのですが、ここでの経験は今から思えば私にとって留学と同じでした。そこで当時は誰もやっていなかった神経細胞内のカルシウム濃度の測定を始めまし

た。かなりの時間を費やし、全く独自の神経細胞内のカルシウム測定装置を作り、この装置を使って世界で最初にグルタミン酸による単一神経細胞内のカルシウム濃度の上昇を計測することに成功しました。この方法を発表してから国内外の研究者と共同研究をするようになり、現在の研究の基礎が築かれた訳です。この装置は手塚治虫の「ネオファウスト」にも描かれています。

まさに初めの一歩を踏み出す研究ですね。では退職後やりたい事はありますか。

自分で今までやってきたカルシウム計測を応用

した新しい計測法、細胞内の機能分子を計測するための試薬の開発、グリアの研究など今になって面白い事がたくさん出てきました。許されるならばもっと進めてみたいと思っています。グリアの研究者は多くなつたのですが、昨年から東薬を中心とした文芸科学学研究会の特定領域研究として、全国規模のグループが発足しました。来年の始めには世界のグリア研究のトップの人たちを集めてシンポジウムをやります。日本のグリア研究に火をつけ、世界レベルの研究を発信したいと考えています。それと今までやってきた事を形

として残したいと思えます。例えば、私のやってきた様々なカルシウム計測に関する方法を讀んだら誰でもやって見ることができるようなマニュアルのような本を作りたいです。ちょっと恥ずかしいけれど、プロットが頭の中にたくさんあるので、その中からいくつかを選んで書いてみたいと思つています。私は学生時代漫画家になりたくて、当時は漫画ばかり描いていたのだけれど、漫画は大変そうなので小説ならなんとか書けると思つて、売れないだろうけど、本当にやりたいことだから、定年後むしろ私はすこく楽しみです。講義も好きだから、もしも

て頂けるならば非常勤講師として残って、授業はやらせて頂くと思つています。

来年もぜひよろしく御願ひします。次の質問なんです。東薬での思い出を教えてください。

東薬は研究も楽しかったけどやはり出会いが楽しかった。いい先生方にも会えたし、いい学生にも会えた。これは本当に幸せだと思つています。その出会いのきっかけは生命科学部を作った事だと思つています。生命科学部を作るにあたり特に苦労した事はありますか。

ここができる前に生命科学部はどこにも無く、一番苦労したのは生

命科学は何を勉強する学部かということ。学生や一般の人に説明し、理解して頂くことでした。学生をどう育てるか、卒業した学生たちがどう育つていくのか、実際にどういう職業について行くのか、みんな全くの手探りだった訳です。本当に難しかったのは卒業生に生命科学部を卒業したという自信をつけさせることだと思つています。私は大

学は人間のスケールを大きくするためにあるところ、どんな事にも対処できる人間味のある人間を育てるのが本来の役割だと思つています。そんな教育ができる学部を作り、学生と先生が浑然

体となって、とにかく新しい世界を作っていくという意欲に湧いている形にしたかったのです。

生命科学部は学生と教授との距離が近く感じられるので、一体になりやすいと思つています。では先生にとって教育とはなにかですか。

教える事というよりは学生の中に打って響くようなものを作ることだと思つています。そのためにベースになるものを学生の中に育てられる環境をつくることじゃないかと思つています。学生時代の勉強はいろんなものを吸収するための海綿みたいな基礎を作ることだと思つています。ベースが

# 生命・細胞機能学 大島泰郎教授

工藤教授と共に日本初の「生命科学部」を設立した。それからちょうど十年経った今、大島教授、工藤教授が相次いでこの大学を去るものになる。生命科学部が出来上がった当初から携わってきた大島教授が学生に伝えたいメッセージを伺った。

まず、大島教授が東薬の教授になった経緯を教えてください。

生命科学部を設立した故水島先生のお誘いで東薬で働く事になりました。水島先生とは大学の学科も大学院の専攻も違ったのですが、生化学学会の中で顔を合わせるようになり、大学院の頃から知り合いました。私が東工大の定年を迎える二年前に一緒にやりませ

んかとお誘いを受けました。では現在どのような研究を行っていますか？

昔から主に好熱菌に注

森の外側を歩き、生き物と生き物でないものとの境を伝っていく事で生命を知るといふ特徴があります。

生命科学の中身だけでなく、他の分野との境界も重要だということですね。では次に、東薬で働いて最も印象に残っている事をお話し下さい。

私立大学は日本にはないという印象を受けました。私は東大、東工大と国立の大学に在籍した後私立の東薬に来たので、東薬の方が自由になつていけると思つていました。というのも、国立大学は国が作った大学ですから、より多くのお金を

もらせるように文部省の颜色を伺い過ぎていたという先入観があったからです。しかし、実際には私立大学も国からお金をもらわないと成り立たないという事を知りました。東薬で働いてわかった事は、とてもショックを受けました。当時は遺伝子の暗号がタンパク質の性質をどうやって決めているかから手探りの状態だったので、たまたそれだけの事が当時は大発見だったのです。そういった大発見を目撃した感激を学生に伝えたいと思つています。

一言われてみるとどうなのかもしませんか。次に、学生に物を教える時、心がけている事はありますか？

私は非常に幸運な時代に生まれたと思つています。例えば私が大学院生の時、ニレンバーグが遺伝子の暗号でびが三つ並ぶとフェニルアラニンだという事を見出したとき、とてもショックを受けました。当時は遺伝子の暗号がタンパク質の性質をどうやって決めているかから手探りの状態だったので、たまたそれだけの事が当時は大発見だったのです。そういった大発見を目撃した感激を学生に伝えたいと思つています。

大学は勉強したい人が来る所であって、今大学で行われている、階段を一段一段上がって行くような講義はいらないはずなんです。学生達が教科書を読んで勉強をしたいという気持ちを引き起こせる講義だけをして、というのが持論です。ただ、そういったことは今の時代が許さない。本人の好きな勉強だけでも良いと思つていますが、社会が許さないので、今は科学の知識が増えているので、大学は基本的な知識を少しずつ教える事がどうしても必要なんです。でも、たまにはその階段とは別の講義を入れた

命科学は何を勉強する学部かということ。学生や一般の人に説明し、理解して頂くことでした。学生をどう育てるか、卒業した学生たちがどう育つていくのか、実際にどういう職業について行くのか、みんな全くの手探りだった訳です。本当に難しかったのは卒業生に生命科学部を卒業したという自信をつけさせることだと思つています。私は大

学は人間のスケールを大きくするためにあるところ、どんな事にも対処できる人間味のある人間を育てるのが本来の役割だと思つています。そんな教育ができる学部を作り、学生と先生が浑然

分です。白いと思つています。口で何を教えるよりもやり方でコンピュータを作ったり、子供の頃は自分の家の自転車小屋を実験室にして遊んだりもしました。なので、大学とかの運営ではなく自分の実験をやりたいですね。

最後に在学生にメッセージをお願いします。

自由のびのびとやってください。それと、四年生になつて卒論の研究室を選ぶ時、研究室のテーマを考へるよりも教授と馬が合うかどうかを決めてもらいたいですね。普通は逆だと思つていらっしゃるかもしれませんが、研究内容は何を選んでも面

あれば、次にいくらでも付け加えていけるはずなんです。大学の勉強は新しいものを吸収するための入れ物を作る事ではないかと思つています。

インターネットを受けて下さるのも私たちに響かせるためですね。それでは最後に学生に対して一言お願いします。

君たちが幸せな状況にいる事を自覚してほしいと思つています。いかにチャンスを生かすか、与えられた立場で満足するかどうかは広がっています。運もありますが、運がないのも能力の一つだと思つています。



生命科学部を設立した故水島先生のお誘いで東薬で働く事になりました。水島先生とは大学の学科も大学院の専攻も違ったのですが、生化学学会の中で顔を合わせるようになり、大学院の頃から知り合いました。私が東工大の定年を迎える二年前に一緒にやりませ

んかとお誘いを受けました。では現在どのような研究を行っていますか？

昔から主に好熱菌に注

森の外側を歩き、生き物と生き物でないものとの境を伝っていく事で生命を知るといふ特徴があります。

生命科学の中身だけでなく、他の分野との境界も重要だということですね。では次に、東薬で働いて最も印象に残っている事をお話し下さい。

私立大学は日本にはないという印象を受けました。私は東大、東工大と国立の大学に在籍した後私立の東薬に来たので、東薬の方が自由になつていけると思つていました。というのも、国立大学は国が作った大学ですから、より多くのお金を

もらせるように文部省の颜色を伺い過ぎていたという先入観があったからです。しかし、実際には私立大学も国からお金をもらわないと成り立たないという事を知りました。東薬で働いてわかった事は、とてもショックを受けました。当時は遺伝子の暗号がタンパク質の性質をどうやって決めているかから手探りの状態だったので、たまたそれだけの事が当時は大発見だったのです。そういった大発見を目撃した感激を学生に伝えたいと思つています。

一言われてみるとどうなのかもしませんか。次に、学生に物を教える時、心がけている事はありますか？

私は非常に幸運な時代に生まれたと思つています。例えば私が大学院生の時、ニレンバーグが遺伝子の暗号でびが三つ並ぶとフェニルアラニンだという事を見出したとき、とてもショックを受けました。当時は遺伝子の暗号がタンパク質の性質をどうやって決めているかから手探りの状態だったので、たまたそれだけの事が当時は大発見だったのです。そういった大発見を目撃した感激を学生に伝えたいと思つています。

大学は勉強したい人が来る所であって、今大学で行われている、階段を一段一段上がって行くような講義はいらないはずなんです。学生達が教科書を読んで勉強をしたいという気持ちを引き起こせる講義だけをして、というのが持論です。ただ、そういったことは今の時代が許さない。本人の好きな勉強だけでも良いと思つていますが、社会が許さないので、今は科学の知識が増えているので、大学は基本的な知識を少しずつ教える事がどうしても必要なんです。でも、たまにはその階段とは別の講義を入れた

命科学は何を勉強する学部かということ。学生や一般の人に説明し、理解して頂くことでした。学生をどう育てるか、卒業した学生たちがどう育つていくのか、実際にどういう職業について行くのか、みんな全くの手探りだった訳です。本当に難しかったのは卒業生に生命科学部を卒業したという自信をつけさせることだと思つています。私は大

### 薬・分子構築制御学 樹林千尋教授

樹林教授は昭和三十七年東京薬科大学卒業、在学中は山岳部に所属されていた。その後東北大学修士課程修了後、東京薬科大学の助手として卒論配属されていた薬品化学研究室へ帰来し、現在まで東薬一筋で教育・研究を営み、長い東薬生活の中での話さうかがった。

「講義では二年次の医薬品化学Iでお世話になっていますが、教授は教育をどのようになされていますか？」

「薬学は薬という具体的な「もの」を扱う美学的な学問です。しかし、この「もの」は人間の生死にかかわる「もの」です。「たまたま」ではないんだね。薬剤師はのよう



「な「もの」を扱うことのできる専門職として特権を与えられているわけだから、その社会的責任は極めて重い。このよう

「でしようか。そう考えれば、薬学生は薬に関する学問や知識を基礎から応用まで「広く深く」学ぶことを社会から要求されているとも言えます。また、人間的にも信頼される

「自然界から見つかった生物活性天然物は複雑な構造を持つものが多いのですが、その中から興味ある構造と強い生物活性を持つ化合物を標的として選び、その全合成を行ってききました。全合成を行うためには、反応や手法の開発、反応機構や構造の解明、不斉合成など有機化学のあらゆる要

「素に通じる必要があり、いわば有機化学の集大成とも言えるので、その魅力で行ってききました。たとえばエビハチンというモルヒネの二

「十年もやってきたようなものです。」  
「先生のようにより甲斐を感じられる仕事に就けたら素敵ですね。では人生もよく山登りに例えられますが退職後にされたことなどありますか？」

「感謝かな。大学生のときにかつたきつかけで「天然物の全合成、トータルシンセシス」に憧れを持ちこの道に入ったのだけれど、それが有程度達成できたという満足感もありですが、このよう

「たまたま」ではないんだね。薬剤師はのよう

「最後にありますが学生にメッセージをお願いします。」

「東薬というまずまずの居心地のいい世界から切り離されて外に出たとき、自立自立できるようになり、自分で自分を確立してもらいたいと思

「平成一六年度後期学生大会結果 十二月一日に体育館で平成一六年度後期学生大会が行われた。参加者数は出席者六二〇名、委任状数五二一名の合計千三百一十一名であり、全生徒数二千四十名の過半数を越えたので開催された。議案結果は以下のとおりである。」

「平成一七年度監査委員長の承認について 可決 ●実習の授業評価アンケート実施について 否決

### 薬・衛生化学 菊川清見教授



菊川教授は長い東薬生活の中で思い出深い出来事などを語って頂いた。まず初めに東薬の教授になるまでの経緯を教えてください。

「東京大学の理科二類から薬学部へ進学し、さらに大学院へ行きました。その後、約十二年間二

「の企業で製剤開発を行っていた。それから東薬が私の住んでいた高幡不動の近くに移転してきたこともあり、東薬の助教として勤めることになり

「が、今まで詳しく学んでいなかった。衛生化学と関係のある書物をたくさん読んで、学生に分かりやすい授業ができるように努力をしました。」

「学生のことごとくも印象に残っています。この学校に勤めるために面談に来たとき、服で販売

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「この企業で製剤開発を行っていた。それから東薬が私の住んでいた高幡不動の近くに移転してきたこともあり、東薬の助教として勤めることになり

「が、今まで詳しく学んでいなかった。衛生化学と関係のある書物をたくさん読んで、学生に分かりやすい授業ができるように努力をしました。」

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

「前勤していた企業で東薬出身の方と一緒に仕事を

「なかつたため購入せずに乗ってしまいました。バスを降りる時、困っていたと親切な学生がバス券を渡してくれました。東薬の学生はともかく親切でしつこく行き届いてると思えました。それは大変いいことですが、それだけでなく別の面を感じ

### Information

平成一六年度後期学生大会結果 十二月一日に体育館で平成一六年度後期学生大会が行われた。参加者数は出席者六二〇名、委任状数五二一名の合計千三百一十一名であり、全生徒数二千四十名の過半数を越えたので開催された。議案結果は以下のとおりである。

- 平成一七年度監査委員長の承認について 可決
- 実習の授業評価アンケート実施について 否決
- 薬学部授業評価アンケートの公表について 否決
- 郵便局ATM設置について 可決
- 学生寮の設置について 否決
- 全天候コートの照明設備の設置について 否決
- 食堂の営業時間の延長について 否決
- 図書館の利用時間の延長について 可決
- 薬学部の試験問題回収の取り止めについて 可決
- コンビニエンスストアの設置について 可決
- 第二体育館の鏡の増設について 否決



今月のテーマ  
「映画」

## ソフィア

寒いですね。  
クリスマス、大晦日、元旦…  
楽しいことだけ続けばいいんで  
すけどね。

## β

K-1の武蔵選手は惜しくも  
準優勝でした。  
来年こそは、世界チャンピオン  
になるはずだ！

## 紋次朗

昔のゴジラって必ず年末に封切  
りしていましたよね。

## ショーシャンクの空に

β 推薦



**10点** 囚人達にとって牢獄生活は一生の問題なんですよ。人権を完全に無視した看守達の暴力を受けつつも、明るく生きる囚人達。でも彼らが精神的に飢えているのは、オペラ「フィガロの結婚」が流れたシーンからも分かります。私が音楽が好きだからというのがありますけど、囚人も看守も、全員が作業の手を止めてじっと耳を傾け、主人公が満足げな表情を浮かべていたのが心に残っています。人間らしい生き方って何なのでしょ。

**10点** 知的で独特な雰囲気を出す主演ティム・ロビンズがなかなか味のある演技をします。刑務所に冤罪で入れられるがロックハンマー一本で20年かけてトンネルを掘り、脱走したシーンでは彼の諦めない根性に乾杯です。また、ダンディーなおジ様のモーガン・フリーマンとの不思議な出会いからの友情も普通の友情を越えたものを感じさせます。この映画の良さは、短い文章では語れません。冬休みは試験勉強で忙しいと思いますが、ぜひ観てください！

**10点** グリーンマイル、ちょっと違うかもしれないが es など、刑務所を舞台にした映画は多々あるがこの作品はそれらとは少し違う気がした。どちらかといえば大脱走に近いような映画だった。しかし、大脱走とは違い作品の中でちょっとしたようなことが脱走の伏線になっており、脱走を予感させないストーリー展開がとてもよかった。結末は良い意味で裏切られたことが作品的に良いと思う。

## ノース小さな旅人

こんな感じ？



紋次朗推薦

**7点** 実写版「青い鳥」というところでしょうか。家族は身近にある最たるものですから、自分がどのくらい幸せなのか気づかないこともあると思います。もう1つ言えるのは、子供は親を選べないと言いますが、親も子供を選べないんですよ。たとえ満足がいかなかったも、ある程度妥協して支えあわなくちゃいけないと思います。ええ、鬱陶しくなる事があるなんて言いませんとも。父、母、妹なくては、私は夜まで寝ていることになりそうですし(笑)

**9点** いきなり、小さな男の子が心臓発作で苦しむシーンから始まる映画。あれ？この男の子見たことある…。そう、あの「ロード・オブ・ザ・リング」の主演アロド役のライオン・ウッドではありませんか！まさか、この映画に出演しているとは。内容は、両親が自分に無関心なので、新しい家族を探す旅に出かけるというものです。また、至る所で出会う両親がお国柄をハロディー風に紹介しており、笑える。しかも、ライオンの子供時代なのに「ノース」の演技がうまい。

**9点** この作品は私が中学生くらいのときに初めて見た作品。分類はコメディであるが、内容は家族愛を描いた感動的な作品だと思っている。しかし、学校新聞を作っていた子供が後半では会社の社長になっているようなところを見るとやはりコメディなのだろうか。気を張ってなくても見ることができたので見た後はとてもほんわかった気分になれるかと。

## ハリーポッターと賢者の石

ハリポタ第1回



ソフィア推薦

**10点** この作品については賛否両論あるみたいですね。でも、よく知られた話であることには間違いありません。空飛ぶ魔法使い、厳格なゴブリン、そして愉快な幽霊達。これをきっかけにファンタジーが流行っていましたね。ストーリーも好きですが、使われている音楽も大好きです。今月、映画第3作が発売されましたね。第3作はハリーの新たな謎が明らかになります！是非、見てみて下さい。私が推薦したこともあり、この点数をつけさせていただきます。

**6点** シリーズのすごい長い映画になりそうですね。私は子供時代に空想したようなファンタジーな世界観が楽しいと思いました。ただ、若干子どもっぽすぎる展開が飽きてしまいました。実際問題、当たり前ですが魔法は使えないですから。夢の無い話ですが、もっと人間の葛藤とか欲など核心に触れるような話がほしいです。子供には、すごく楽しく見られる映画だと思います。シリーズはまだまだ続きますので、まずは1作目の評価として平均点をつけました。

**2点** 今でも話題なのだろうかこの作品。私には良さがわかりません。というか、絶大な人気を誇るような最近の映画はあんまり好きでない。なんだかただ流行りに乗って映画を見てというように見せられている感じがしてしょうがない。そういう意味では最新刊の売り上げがイマイチなのは少しうれしかったりもします。あと、高校の時とくに学校に一人はハリーポッターに似た人ってましたよね。

## Jr.の食わせろ 改心編 千人同心

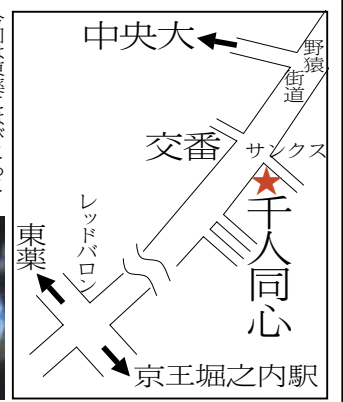
十一月某日、編集長から「環境動態化学研究室の貝瀬先生から連絡があったので先生のところにいくように」と言われた。貝瀬先生と言つと今選択の授業を受けている。まだ何もしていないはずだが、まさか何か悪いことをしたのかと思ひ、授業後、お縄につくつもりで先生のところへいくと「食べ歩きネタに困っているらしいから紹介するよ」とのこと。願ってもない申し出と不安が消え晴れた気持ちになった。

と、言うわけで今回は貝瀬先生お勧めラーメン屋「千人同心」にいらして参りました。お店に入りアポを取ろうとするので「あー東薬の学生さんね」と返ってくる。貝瀬先生がアポを取っておいでくれたようで話がとてもとんとん拍子に進んでいく。朝を抜いていたので醤油ラーメン大盛りを頼む。さて、八王子愛国主義者の私としては千人同心と聞いて黙っていられない。千人同心と言うと八王子にかつていた江戸を代表する最強の武闘集団である。そんな過激な名前から考えるとどんなラーメンが出てくるのか楽しみだった。待っている間そんなことを考えていると、あっという間にそれはやって来た。一目見て、動きが止まった。醤油スープの上にぎっしりタマネギ、チャーシュー……ここまで見たらようやく理解できた。八王子ラーメンである。千人同心の名前を店に使い、八王子ラーメンを出すなんて、なんと地元への愛に満ちたラーメンなんだろう。箸を取り取り麺をすくいそのまっ黒い、麺に絡まったタマネギの辛さと醤油スープがマッチして絶妙な味が引き出される。スープを飲むのにレンゲなんて軟弱なものはいらない。ドンブリを持つてタマネギごとすする。あっさりとしたスープにより外の寒さに冷えた細胞達が生き返らせられ身体が熱くなる。ここでおかみさんから貝瀬先生はコシヨウをリザーブしていることを教えられ、そのコシヨウを少し頂いてラーメンへ投入したいのラーメンはコシヨウの味に押し殺されてしまつたがこれは更にラーメンの味が引き立っている。麺も少なくなってきたところでメンマ、海苔そしてスープの上でひたすら自己主張をするチャーシューへ箸を付ける。チャーシューはなかなか歯ごたえのある強者であった。残った麺も食べ終えたところでスープとタマネギが残る。ここまで来ると完全の誘惑に駆られる。けっこう量があると思いながら一口、また一口とどんどん進んでいく。結局ドンブリには何も残らなかつた。

〜お会計〜  
醤油ラーメン 五〇〇円  
大盛り五〇〇円のところ配慮により五〇〇円にして頂きました。多謝！

〜お店の人から一言〜  
千人同心という先人の開拓者のフロンティア精神を持って八王子系の新しいラーメンに挑戦しています。大衆に受け入れやすいラーメンを目指し価格を考えています。スープには最高の浄水器を通した純水を使い、素材の味をそのまま出し、動物系・魚系に偏らず健康にも配慮しています。

〜感想〜  
確かに私はこつりしたラーメンも好きだが、



今回は東薬にはびこるこつり至上主義に対してアンチテーゼを投げかけたい。千人同心であっさりした美味さに目覚めさせられた。そして最後に紹介して下さった貝瀬先生、ありがとございまして。

### 編集後記

退職される先生方お忙しい中、インタビューに応じていただき本当にありがとうございました。ご迷惑をおかけしました。冬休みの御無礼遣いですが、この場でお詫び申し上げます。

各部門、部活、同好会では執行が交代されたことだと思ひます。新しく執行をとる皆さん一年間いろいろな面で苦勞があると思いますが、頑張っているのを見ていた。たぐいまじ生関わりと思つてなかつた中、一輪教習中。(編)